

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 4月号

2016年4月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 5171

FAX (098) 864 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：伊禮 尚恵（豊見城中央病院）

第 27 回 回復期リハビリテーション研究大会

in 沖縄 - 原点に立脚しつつ更なる進化を - に参加して

南部徳洲会病院 山里 恵

先日の3月4・5日に沖縄コンベンションセンターで回復期リハビリテーション研究大会が開催されました。

初日は晴天に恵まれましたが、二日目は雨が降ったり止んだりして傘を差しながらの会場移動となりました。移動中に急に雨が降り、木の下で雨宿りをしていると、見ず知らずの大会係の方が傘に入れてくださり、「やっぱり沖縄、素敵！」とほっこりした気持ちになりました。また、近くの食堂では県外から参加した方がうちな～料理に歓声をあげ、写真を撮っている姿を見て自分が作ったわけではないのですが、にんまりしたりしていました。

会場では全国の回復期からたくさんの職種の方々が参加、発表をされていました。

退院支援では、急性期から受け入れする前から支援を開始していたり、疾患とFIMで入院期間を5つのコースに分けている病院があったりと各病院でスムーズな退院支援のために色々な取り組みをされていると知ることができました。

また、患者本人に限らず、取り巻く家族の支援に困難を感じながらもSWにしかできない視点で懸命に支援をされた発表を聞きながら、自分が担当のMSWだったらどうするだろう、できるだろうかと考えさせられました。

ソーシャルワーカー委員会企画では、沖縄大学教授の富樫先生の熱い講義を聞くことができました。

大浜第一病院の嘉手納さん、勝山病院の崎濱さんの事例発表では、離島を抱え

CONTENTS

回復期リハビリテーション病棟協会第27回研究大会 in 沖縄参加報告	1
社会福祉公開セミナー報告	2
新入会員紹介	3
理事会議事録	3
研修部からのお知らせ	5

る沖縄ならではの支援の難しさがありつつも、うちな一人らしい横の繋がりを活用しながら支援を展開されていました。

これらの発表を通じて、どの MSW も悩みながら、真摯に向き合い、様々な資源を活用しながらケースを展開しているのだなと感じました。また、自分自身の勉強不足を痛感することができ、とても刺激となる二日間になりました。

発表をされた方々、会場で進行・設営係をされた県内の回復期病棟のスタッフの皆様、二日間本当にお疲れ様でした。

来年の広島大会に向けて発表の決意をされた方々、頑張ってくださいね。

沖縄県ソーシャルワーカー学会 & 公開セミナー参加報告

中頭病院 嘉陽 嘉世

平成28年3月5日(土)、沖縄大学にて第4回沖縄県ソーシャルワーカー学会 & 公開セミナーが開催され参加しました。テーマを「権利条約時代に学ぶ意志決定支援」とし、支援現場で求められる本人の意志決定をいかにして保障していくか、それぞれの実践の立場を踏まえて、ソーシャルワーカーとしての支援を考える場となりました。

午前の部では3分科会に分かれ、1.自己実現と支援の課題、2.支援の現状と連携体制、3.子ども・家庭支援とエンパワメントの内容で自由研究発表が行われました。

その中でも沖縄刑務所処遇部企画部門部類による「罪を犯した高齢者・障害者に対する支援の現状について」の発表が興味深く、業務でほとんど関わることがない刑務所の社会福祉士の取り組みを知ることができました。罪を犯した高齢者・障害者で再犯の方の割合が高く、その負の連鎖を絶つために、要件はありますが“特別調整対象者”というシステムがあり、出所後すぐ移住できない方などの支援を行っているそうです。また他にも、更生保護施設を利用したり、県の社会福祉協議会が運営している地域生活定着支援センターなどと連携しながら支援しており、こういった状況の方への入所中の関わりや指導など司法の中の福祉の視点を知ることができ、入所している方の特性を理解することが大事だと感じました。

午後は、北野誠一氏による「障害者差別解消法と意志決定・表明支援」の基調講演、各分野のシンポジストによるシンポジウムがありました。権利条約など政策についての知識や他県の障害者支援、精神科医療機関における意志決定支援、子どもシェルターの取り組みを通して子どもの意思を中心とした支援などのお話があり、どの分野でもその人を理解しその人の意思を大事にし支援していくことが大事だと強く感じました。

MSW 協会からも3演題が発表され、MSW としての取り組みや支援についても伝わったと思います。発表者の方々、運営に携わったスタッフの皆様、お疲れ様でした。

新入会員紹介

豊見城中央病院 金城 大樹

平成 28 年 1 月より、豊見城中央病院に入職しました金城大樹と申します。
地域医療部の相談員として後方連携を担当させて頂いております。前職は大道中央病院で回復期リハビリテーション病棟の相談員を担当させて頂きました。急性期のソーシャルワークに興味があり、縁あって豊見城中央病院にお世話になることになりました。以前担当していた回復期リハビリテーション病棟では一定の入院期間が設けられており、十分な時間をもって入院している患者様や、そのご家族様等との関係を築いていくことができましたが、急性期病院ではなかなかそういうわけにはいきません。いかに短い期間で、患者様・ご家族に対して必要な支援を行っていくか、私にとって課題はまだ多いですと感じています。急性期病院の慌ただしさや求められるスピードに慣れないところもありますが、新しい学びや気づき・変化に充実した日々を送っています。沖縄県医療ソーシャルワーカー協会での研修や勉強会を通して、医療ソーシャルワーカーとしての質の向上を目指し、早く皆様方の戦力となれるように頑張りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

平成 28 年 3 月運営委員会議事録

開催日時：2016（平成28）年3月14日（月）18：45～

出席者：樋口、望月、當銘、新垣（司会）、伊禮、香村、石郷岡、仲地、安慶名、島袋（記録）

場所：那覇市立病院

研修部：望月（ハートライフ病院）

中堅者研修 めだかの放課後

日時：2016（平成28）年4月15日（金）18：00～21:00

場所：那覇市立病院 3階講堂

内容：地域包括ケアシステム作りに向けた戦略の立て方（仮）

講師：道東脳神経外科病院 副院長 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長 関建久氏

4月の研修会

日時：2016（平成28）年4月16日（土）10：00～17:00

場所：那覇市立病院 3階講堂

内容：在宅医療を推進する退院支援の現状と課題（仮）

講師：道東脳神経外科病院 副院長 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長 関建久氏

合同研修会

日時：2016（平成28）年4月17日（日）9：00～12:00

場所：那覇市立病院 3階講堂

内容：在宅医療を推進する地域連携（仮）～沖縄県入退院連携デザイン事業～

講師：道東脳神経外科病院 副院長 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長 関建久氏

めだかの学校

日時：2016（平成28）年4月12日（火）19：00～21:00

場所：未定

内容：次年度活動計画について

平成28年度総会・研修会（予定）

日時：2016（平成28）年5月11日（水）14:00～17:00

場所：未定

内容：総会・研修「診療報酬改定について」

広報部：仲地（豊見城中央病院）

MSWニュース・・・4月号担当：豊見城中央病院

社会活動部：樋口（代理）

3月23日（火）19:30～ 県民健康フェア 準備委員会 泰が出席予定

事務局：當銘

小禄病院 MSW新城退会届受理

理事：新垣

津梁ネットワーク 稼働未 MSWのアクセス権限の変更あり。

会長より：樋口（那覇市立病院）

- ・ 在宅医療連携体制推進委員会の報告
- ・ 入退院支援連携デザイン事業について
- ・ 沖縄県総合福祉センター入居募集要項について

「はいさいワーク」

今回のはいさいワークはありません。

研修部からのお知らせ ~平成28年4月の予定~

めだかの放課後

日時：平成28年4月15日（金）18：00～21：00

場所：那覇市立病院 3階講堂（那覇市字古島2-31-1）

内容：地域包括ケアシステム作りに向けた戦略の立て方（仮）

講師：関 建久氏

道東脳神経外科病院 副院長

北海道医療ソーシャルワーカー協会会長

参加資格：MSW協会会員かつ実務経験5年以上

めだかの学校

日時：平成28年4月12日（火）19：00～

場所：ハートライフクリニック 2階会議室（西原町掛保久288）

内容：平成28年度めだかの学校について

参加資格：MSW協会会員かつ実務経験概ね3年未満

研修会 別紙案内参照、申込みが必要となります。

日時：平成28年4月16日（土）10：00～17：00

場所：那覇市立病院 3階講堂（那覇市字古島2-31-1）

内容：在宅医療を推進する退院支援の現状と課題（仮）

...MSWに今後求められることについて具体的にお話いただきます。

講師：関 建久氏

道東脳神経外科病院 副院長

北海道医療ソーシャルワーカー協会会長

参加資格：MSW協会会員

MSWにとって、今後の仕事に必ず必要な内容となりますので、各病院1名以上の参加をお願いします。

入退院支援連携デザイン事業（県委託事業）合同研修会

日時：平成28年4月17日（日）9：00～12：00

場所：那覇市立病院 3階講堂（那覇市字古島2-31-1）

内容：在宅医療を推進する地域連携（仮）～沖縄県入退院連携デザイン事業～

講師：関 建久氏

道東脳神経外科病院 副院長

北海道医療ソーシャルワーカー協会会長

参加資格：現在協議中にて後日別紙にて通知します。

『平成 28 年度研修の体系が変わります』

これまで、必要な知識や技術の研修、会員の交流を目的とし、月 1 回の定例会を開催してきました。平成 27 年度は前年度の定例会にて回収したアンケート結果を踏まえ、1 年間に実施する定例会のテーマを研修部及び理事会にて協議の上、年度計画を策定し、各回を担当する委員の役割分担をすることで、1 年間滞りなく開催することができました。

平成 28 年度に向け、これまでの研修体系の振り返りと評価をした結果、定例会に必要な研修テーマを組み込む研修体系をあらため、他県の研修も参考にしつつ、研修の枠組みを設定し、毎月開催ではなく必要な時期に開催する予定となりました。枠組みは 初任者研修、中堅者研修、上級者研修、県委託事業（地域包括ケア・入退院連携デザイン）、宿泊研修、その他研修の予定です。会員の皆様のさらなる研鑽になるような研修会開催に向け準備していきたいと思っています。

詳細については総会を経て、会員へ広報していきます。

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ
<http://www.msw-oaswhs.jp/>

編集後記

新年度あけましておめでとうございます！春ですね。診療報酬改定ですね。やること多いですね。平成 28 年度の広報誌「MSW ニュース」は会員の皆様にとって有意義な情報と HOT な話題を伝える内容に進化していきたいと考えております。会員皆様からのご感想ご意見をドシドシお寄せ下さい。

年度末、しかも締め切り目前にも関わらず原稿依頼を快くお引き受けいただきました皆様、本当にありがとうございました。